

米濱・リンガーハットカップ 第 28 回鳥取県 U-11 サッカー大会 大会要項

- 1.趣 旨 サッカーの楽しさをさらに深め、試合を通じてさらなる技術の向上とフェアプレーの精神を養い、健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした大会である。
- 2.名 称 米濱・リンガーハットカップ 第 28 回鳥取県 U-11 サッカー大会
- 3.主 催 一般財団法人鳥取県サッカー協会
公益財団法人米濱・リンガーハット財団
- 4.主 管 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会
- 5.日 程
 - 【地区予選会】
 - 西部地区予選会 11月10日(日)、17日(日)
[弓浜コミュニティー広場(米子市)]
 - 中部地区予選会 11月9日(土)、10日(日)
[東郷運動公園多目的広場(湯梨浜町)]
 - 東部地区予選会 11月9日(土)、10日(日)
[倉田スポーツ広場(鳥取市)]
 - 【鳥取県大会】
 - 1回戦・2回戦 2025年3月8日(土)[ヤマタスポーツパーク球技場(鳥取市)]
準決勝・決勝・3位決定戦
2025年3月9日(日)[ヤマタスポーツパーク球技場(鳥取市)]

6. 参加資格

- (1)「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下:JFA)第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
- (2)上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する小学5年生以下の選手であること。
- (4)地区予選会から県大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再参加することはできない。
- (5)第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。但し、都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟登録チーム」で再び参加することはできない。
- (6)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。また、試合時においては、ライセンスを有するチーム役員が1名以上ベンチ入りすること。
- (7)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

7. 参加チームとその数

「参加チーム」は【地区予選会】を勝ち抜いた16チームとする。

【内訳:東部地区代表(7)、中部地区代表(2)、西部地区代表(7)] ※鳥取県 U-12 サッカー大会
県大会優勝チーム所属地区1チーム、準優勝チーム所属地区1チームを含む

8. 大会形式

- (1)【地区予選会】トーナメント戦を行う。
【鳥取県大会】出場 16 チームによるトーナメント戦を行う。
- (2)鳥取県大会 1 日目に1回戦、2回戦を行う。
鳥取県大会2日目に準決勝、決勝、3位決定戦を行う。
- (3)悪天候等自然条件によって、大会実施が出来ない場合は主管委員会において上位進出チーム及び代表チームを決定する。

9. 競技規則

大会実施年度の JFA「サッカー競技規則」および「8人制サッカー競技規則」による。

10. 競技会規定

- (1)競技のフィールド
フィールドの長さ(タッチライン)は 68m 以内、幅(ゴールライン)は 50m 以内とする。
ゴールエリア 4m、ペナルティーエリア 12m、ペナルティーマーク 8m、ペナルティーアークとセンターサークルの半径は 7m とする。
- (2) 試合球 サッカー4 号球(JFA 検定球)を使用する。
- (3) 競技者の数
 - ① 競技者の数:8 名
 - 1)第 1 ピリオドと第 2 ピリオド間では選手を原則総替えすること。
 - 2)選手の出場は最大で 2 ピリオドまでとし、3 ピリオド全てに出場することは不可とする。
 - 3)延長戦については前後半で同一選手の出場を可とする。また、自由な交代を適用する
 - ② 交代要員の数:8 名
 - ③ 交代を行うことができる数:制限なし
※交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
- (4) 役員の数: ベンチ入りできる役員の数 3 名以内
- (5) 審判員 1 人の主審と 1 人の予備審判員が指名される。
- (6) テクニカルエリア:設置する
※その都度ただ 1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (7) 競技者の用具:ユニフォーム
 - ①JFA のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ②本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ③正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
 - ④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑤前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑥ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑦アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑧アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑨J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(J リーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑭に準じる。
 - ⑩ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。

- ⑪シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑫選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑬ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑭ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第 4 種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2024 年 9 月 14 日(土)までに JFA に承認された場合にのみ認められる。

※JFA ユニフォーム規程第 10 条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

- ⑮フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。

(8) 試合時間

- ①試合時間は 36 分(12 分×3 ピリオド)とする。
- ②ピリオド間のインターバル:第 1 ピリオドと第 2 ピリオド間は選手総替えに要する時間のみとし、第 2 ピリオドと第 3 ピリオド間は 5 分以内とする。
- ③サイドの決定:第 3 ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。タイミングは審判にゆだねる。
- ④規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
 - a.トーナメント戦:ペナルティキック方式(3 人制)により勝利チームを決定する。
 - b.県大会の準決勝、3 位決定戦、決勝戦:6 分(3 分ハーフ)の延長戦を行う。
なお決しない場合はペナルティキック方式(3 人制)により勝利チームを決定する。
延長戦に入る前のインターバル:5 分
ペナルティキック方式に入る前のインターバル:1 分
- ⑤ペナルティキック方式において両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。
- ⑥ペナルティキック方式の進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。
- ⑦上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみペナルティキック方式を行う資格が与えられる。
- ⑧資格のある競技者は、ペナルティキック方式の進行中に、いつでもゴールキーパーと入れ替わることができる。その時のユニフォームはそのままよい。
- ⑨試合が終了し、ペナルティキック方式を行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と、背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者は、ペナルティキック方式に参加することはできない。

(9) 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④ 交代は、主審、第4の審判員の承認を得る必要はない。
 - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

11. 懲罰

- (1)鳥取県サッカー協会理事会の決議に基づき、本大会に大会規律委員会を設置し、JFA 規律フェアプレー委員会は、JFA 懲罰規程第3条(以下”懲罰規程”という)により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規程第25条に基づき本大会の大会規律委員会へ再委任する。
- (2)前項の再委任の範囲は、戒告、譴責および1試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
- (3)大会規律委員会の委員長は鳥取県サッカー協会第 4 種委員長とし、3名以上の委員を委員長が決定する。
- (4)大会規律委員会の議事は出席者の過半数をもって決定する。
- (5)本大会とそれに繋がる予選大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選大会終了時点での退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (6)本大会期間中に警告を 2 回受けた選手等は、直近の本大会1試合に出場できない。
[JFA 懲罰規程〔別紙 2〕第 2 条 3 項〕参照]
- (7)本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する。
[JFA 懲罰規程〔別紙 2〕第 4 条〕参照
[JFA 懲罰規程〔別紙 2〕第 7 条〕参照]
- (8)出場停止処分を受けた者は、JFA 懲罰規程〔別紙 2〕第 3 条の通り、試合が終了するまで制限される区域には立ち入ることは出来ない。
- (9)本大会の規律問題は、「JFA 基本規程(懲罰規程)」に従い、大会規律委員会が処理しなければならない。[基本規程 第 227 条]

12. 大会参加申込

- (1) 1チームあたり 30 名以内(役員 6 名以内、選手 16 名以上 24 名以内)を最大とする。
- (2) 参加チームは、所定の用紙に必要事項を記入の上、各地区の大会担当者へ送付すること。
- (3) 登録後の選手変更は原則として認めない。
傷病傷害を理由とする参加選手の変更は認めることとし、大会当日の監督会議までに、鳥取県サッカー協会第 4 種委員長まで申請すること。

13. 参加料 無料

14. 選手証 各チームの登録選手は、JFA 発行の選手証(写真を貼付したもの)を持参すること。ただし写真貼付により、顔の認識が出来るものであること。
※選手証とは JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

15. 表彰 :以下のとおり行う。

- (1) 優勝チーム トロフィーおよび表彰状を授与する。
- (2) 準優勝チーム トロフィーおよび表書状を授与する。
- (3) 第 3 位チーム トロフィーおよび表書状を授与する。
- (4) その他、本協会第 4 種大会部会が別途定める規程に基づき表彰を行うことができる。

16. 交通・宿泊 各チームにて対応すること。

17. 傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。

18. 応急処置 大会期間中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行う。

19. その他

- (1) 開会式における選手宣誓は「各地区第1代表」チームの代表選手が行うこととする。
- (2) 上位2チームは、4月5日(土)から6日(日)に島根県で開催される「JA全農杯チビリンピック2025 小学生8人制サッカーin中国兼第23回中国ユースサッカーU-12ジョイフル大会」の鳥取県代表チームとして推薦する。
※中国大会の引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム指導者は日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)、内1名以上は日本サッカー協会公認コーチ資格(C級コーチ以上)を有すること。
- (3) 大会要項に規定されていない事項については主管委員会において協議の上決定する。

◆鳥取県として

- (1) 各地区の登録時点で16名以上の登録をしたチームは中国大会出場資格のあるD(ディビジョン)1の参加資格が与えられる。
(16名以上の選手がいなくは、D(ディビジョン)2の部に、8人以上の登録で参加できる(地区大会のみ)。試合の成立は6名以上とする。
(人数のそろわないチーム同士による合同チームを認める。))
- (2) 大会当日に、極端な身体の不調、怪我等の場合で、当日12名より少なくなったチームは、棄権となり、試合はオープンとなる。
- (3) PK戦は最終ピリオドのピッチにいる選手8名で行う。
(ベンチの選手はPK戦に参加出来ない)
- (4) 試合ごとに、エントリー者を替えてよい。